種市小校報

水緒（みお）

第　１４５４　号
令和５年度 №１５ 12/19 火
洋野町立種市小学校
☎0194－65－2128
児童数　２１６名

先日の支援する会餅つきは大盛況でした。活動スタッフ絶賛募集中とのこと、皆さまご検討ください😊

キラリ種小っ子！思いやりいっぱいの２学期☺

その1 温かい応援はだれもがうれしい！

とても暑い夏から始まった２学期。熱い挑戦がたくさんありました。体力向上の一環である陸上取組は連日暑さとの戦いでしたが、自己記録更新をめざす姿と一致団結した応援活動が光りました。また、全校児童が挑んだマラソン大会は、最後まで自分自身と向き合い走り続けました。みんながあきらめずに挑戦し、みんなが心をあわせて応援していました。一生懸命頑張る人を、みんなで応援できる種小っ子、とてもステキです。そして、こうした行動は、見ている人たちに感動を与え、家族や地域の方からも温かい応援をいただくことにつながっています。努力がたくさん認められ、温かく応援された２学期。全校２１６名それぞれに応援物語がありました。これからも、応援される種小をめざします。

その2 願いをこめた表現・取組は感動につながる！

今学期は様々な学習が制限なく行われました。６年生が町内や東北各県小中学生と交流した海洋サミット、その姿をライブで参観し来年度への決意を確認した５年生。各学年が工夫して表現した学習発表会。全校で縦割り班交流を楽しむ種小フェス。また、草取り、椅子並べ会場設営、雪かきのボランティアなど、「〇〇を伝えたい」「〇〇を喜ばせたい」「〇〇のために」という相手を意識した学習活動において素晴らしい成長が見られました。自分の学年だけにとどまらず、全校や他校、家族・保護者、地域の方々を意識し表現する学習は、大きな感動につながりました。そして、その手応えが一人一人の自信につながっています。コロナで行事が思うようにできない期間がありましたが、この２学期はこれまでの分の思いや願いも含めて取り組み、全員輝くことができました。

その3　たすけあいの気持ちを届けます！

ボランティア委員会が中心となり、１２月１３日（水）から３日間、赤い羽根共同募金とユニセフ募金に取り組みました。事前に配付されたドラえもん貯金箱に温かい思いをたくさん詰め込んで、笑顔で募金する種小っ子たち。そして、洋野町社会福祉協議会への贈呈式を１８日（月）に行い、小森渚月委員長は「少しでも困っている方の助けになればと思い募金活動をしました。どうぞお役立てください。」と集めた募金（18 日まで集計分 11,082 円）を手渡しました。村上事務局長さんからは「種小の皆さんの温かい気持ちに感謝し、赤い羽根募金として活用させていただきます。」とお礼の言葉をいただきました。

家族とゆっくり過ごし、安全な冬休みを！

子どもたちは学習・生活の振り返りを行い、冬休み計画を立てました。保護者の皆さまには、期末面談で確認された成長点をたくさんほめていただき、課題点については今後の取組で伸ばせるように、ご家庭で温かい励ましをよろしくお願いいたします。また、冬休みの健康管理、安全な生活、メディア利用のご指導もあわせてお願いいたします。そして、校長からの宿題として次の二つを提案します。親子で楽しく取り組んでいただけたら幸いです。冬休み明けに、子どもたちの報告を楽しみにしています。

宿題①　お手伝いを毎日一つ続けましょう

夏休みに続き、家族の一員としての役割を果たせるように、お手伝いを一つ親子で決めて取り組ませていただきたいです。同じ内容の継続でもいいですし、状況に応じて日替わり内容でも構いません。お子さんができる内容で取り組ませ、たくさんほめていただきたいです。

宿題②　親子で同じ本を読み、感想交流しましょう

月曜日に図書まつりを行い、おススメ図書の紹介を受けて、子どもたちは冬休み用の本を図書館から借りています。ゆっくり過ごせる冬休みに、親子で同じ本を読んで感想を語り合ってほしいです。「読書は心のご飯」と言われています。そして、日常では体験できないことも疑似体験できます。ゲームやユーチューブとは違う世界を、親子で感じてほしいです。

保護者の皆さまや地域の皆さまのご理解ご支援をいただき、長い２学期を無事終えられます。心より感謝申し上げます。来る新年は辰年です。縁起よいのぼり龍のように子どもたちがそれぞれの目標に向かって上昇し続けることを願います。皆さま、どうぞよいお年をお迎えください。

拍手喝さい！レインボーさんによる読み聞かせ劇